

【ジーンボード】 JIS製品記号：PUF2.2F I λ ：0.018W/(m・K)^{※1} の熱貫流率表

■軸組構法

【熱貫流率の単位：W/(m²・K)】

断熱種類	部位	屋根の熱貫流率（通気層あり）		天井の熱貫流率	壁の熱貫流率（通気層あり）		床の熱貫流率		外壁（基礎壁）
		野地上	垂木間充填	桁上	柱間充填	外張 ^{※2}	その他床		
製品厚さ	工法・仕様 JIS表示 熱抵抗値						根太間充填	大引間充填	一般部 基礎壁（玄関） 基礎壁（浴室）
【mm】	【m ² ・K/W】	—	垂木90mm	—	柱105mm	—	根太60mm	大引105mm	—
20	1.0	0.847	1.153	0.847	1.140	0.820	1.060	0.987	0.870
25	1.3	0.676	0.958	0.676	0.959	0.658	0.907	0.836	0.690
30	1.6	0.562	0.822	0.562	0.831	0.549	0.796	0.729	0.571
35	1.8	0.505	0.742	0.505	0.754	0.495	0.729	0.666	0.513
40	2.1	0.439	0.659	0.439	0.675	0.431	0.658	0.597	0.444
45	2.4	0.388	0.593	0.388	0.611	0.382	0.600	0.543	0.392
50	2.7	0.347	0.540	0.347	0.558	0.342	0.552	0.498	0.351
55	2.8	0.336	0.514	0.336	0.532	0.331	0.528	0.476	0.339
60	3.1	0.305	0.473	0.305	0.492	0.301	0.491	0.441	0.308
65	3.4	0.279	0.439	0.279	0.457	0.276	—	0.412	0.282
70	3.7	0.258	0.409	0.258	0.428	0.255	—	0.386	0.260
75	3.9	0.245	0.388	0.245	0.407	0.243	—	0.368	0.247
80	4.2	0.228	0.365	0.228	0.383	0.226	—	0.347	0.230
85	4.5	0.214	0.344	0.214	0.362	0.212	—	0.328	0.215
90	4.8	0.201	0.326	0.201	0.344	0.199	—	0.312	0.202
95	5.1	0.189	0.309	0.189	0.327	0.188	—	0.297	0.190
100	5.3	0.182	0.297	0.182	0.314	0.181	—	0.286	0.183

注）本製品は、厚さのマイナス公差が2mmありますので、（製品厚さ-2mm）を用いて計算しています。

厚さ50mmを超える規格厚さの場合は50mm以下の製品の組み合わせとなります。その場合の詳細は弊社担当者にお問い合わせください。

※1 ジーンボードの熱伝導率は0.018 [W/(mK)]（試験方法はJIS A 9521による）ですが、JIS区分上は2種2号Fとなります。

※2 下地材などにより断熱材を貫通する熱橋部を有する場合は、断熱材の熱抵抗値に0.9を乗じて計算してください。（本計算では0.9を乗じてません）

■別表：壁の付加断熱工法

断熱種類	部位	壁の熱貫流率（通気層あり）	
		付加断熱工法（外張 ^{※2} +充填）	
製品厚さ	工法・仕様 JIS表示 熱抵抗値	充填：柱部 105mm	充填：柱部 105mm
		断熱：ロックウール・グラスウール （熱抵抗値2.8）	断熱：セルローズファイバー・インシュレーションファイバー（熱抵抗値2.6）
【mm】	【m ² ・K/W】		
20	1.0	0.288	0.298
25	1.3	0.263	0.272
30	1.6	0.243	0.251
35	1.8	0.231	0.238
40	2.1	0.215	0.222
45	2.4	0.202	0.208
50	2.7	0.190	0.195
55	2.8	0.186	0.191
60	3.1	0.176	0.181
65	3.4	0.167	0.171
70	3.7	0.159	0.163
75	3.9	0.154	0.158
80	4.2	0.147	0.150
85	4.5	0.141	0.144
90	4.8	0.135	0.138
95	5.1	0.130	0.132
100	5.3	0.126	0.129

注）本製品は、厚さのマイナス公差が2mmありますので、（製品厚さ-2mm）を用いて計算しています。

※2 外張断熱又は付加断熱の場合で、下地材などにより断熱材を貫通する熱橋部を有する場合は、断熱材の熱抵抗値に0.9を乗じて計算してください。（本計算では0.9を乗じてません）